



深江中学校だより

令和6年3月22日

第14号

文責：校長 黒岩 洋史

【学校教育目標】 ～社会に貢献できる 人間性豊かで しなやかな 生徒の育成～
【スローガン】 時を守り 場を清め 礼を正す

第77回卒業証書授与式

3月14日（木）、令和5年度第77回卒業証書授与式を深江体育館で行いました。朝は少し肌寒さを感じる天気でしたが、コロナ禍前のように多くのご来賓の皆様にご参加いただき、卒業生54名の門出を祝福することができました。来賓・保護者の皆様から、「いい卒業式でした」「感動しました」「在校生の参加態度や歌も立派でした」など、お褒めの言葉をいただきました。校長式辞では以下の言葉を送りました。

（途中より一部抜粋しています）



このように、優しく、たくましく、賢く成長した卒業生の皆さんに、私から最後の言葉を送ります。

それは、「人は人を浴びて人になる」という言葉です。「人は人との関わりの中で成長していく」という意味のこの言葉は、先人の教えですが、私自身が日頃から大切にしている言葉で、実は、今年度の始め、本校の先生方に、「生徒と関わる際に意識して欲しい」と伝えた言葉でもあります。

ではなぜ、卒業生の皆さんに送る言葉として選んだのか？それは、今年一年、皆さんが実際に成長する姿を見て、正にこの言葉の持つ意味を実感できたからです。いつもそばにいて安心感を与え、厳しくも優しく丁寧に指導くださった素晴らしい先生方。何があっても、常に味方でいてくれた家族。いつも温かく見守り、声を掛けてくださった地域の方々。そして、互いに支え合い、励まし合いながら、どんな困難にも一緒に立ち向かった仲間たち…。そんな人との出会いもあり、また、周りの人の人間性も浴びながら本当に、良く成長しました。その成長の裏には、皆さん一人一人の頑張りがあったことも忘れていません。

これから先、どんな高校へ行っても、どんな職場でも、どんな地域でも、どんな国でも…人は人との関わりの中で生きていきます。そして互いに影響し合いながら成長していきます。人に生かされ、人を生かしながら生きていくのです。「人は人を浴びて人になる」この言葉を胸に、自らの道を自らの足で力強く歩んで欲しいと願っています。

令和5年度修了式

本日（3月22日）、令和5年度の修了式を行いました。今年度の1年間を振り返ると、昨年5月にコロナが2類から5類に引き下げられたことが大きな転機となりました。とは言え、マスクを手放せない生活はしばらく続きました。そのような環境の中でも、生徒は「受け身・指示待ちからの脱却」に向け、様々な活動等に前向きに取り組みました。体育大会、市中総体、合唱コンクール等の節目の行事で生徒の成長を確認できましたが、その成長ぶりは私が想像していた以上でした。「気づき、考え、判断し、行動する」場面が増え、頼もしささえ感じられるようになり、校長としてたいへん嬉しく、そして誇らしく思いました。そこで、修了式では、次年度へ向けて以下のようなことを生徒へ伝えました。（途中より一部抜粋しています）

今年1年、皆さんが頑張っている姿、輝いている姿、成長した姿をたくさん見てきましたが、さらなる成長のため、次年度、特に意識してほしいことがあります。それは、学校スローガンである「時を守り、場を清め、礼を正す」。このことをもっと意識しながら、日頃の生活を送ってほしいということです。これまでこの学校スローガンを意識しながら生活をしてきたと思いますが、今年1年で大きく成長した皆さんは、「時を守ること」「場を清めること」「礼を正すこと」、それぞれ、更に質の高い取組にすることができるはずだと思っています。学校スローガンではありますが、学校だけではなく、家庭や地域など学校以外の場所でも、この取組を徹底できれば、皆さん自身にとっても、互いにとっても、人間形成や人間関係づくりに大きく役立つはずです。是非、実践してください。

私事ですが、この度の定期人事異動により転勤となりました（異動の教職員については別途配布のプリント参照）。今年度最後の学校だよりになると同時に、私自身が発行する「深江中学校だより」も最後となります。私にとって、新任校長として赴任した深江中での2年間は、教職人生において、たいへん学びが多く中身の濃いものでした。この場を借りて、保護者の皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。本当にお世話になりました。

私は深江中を離れることになり、正直、寂しい思いもありますが、今後も深江中学校の教育活動に、変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願いいたします。私はどこにいても、深江を、深江中を、応援し続けます！